

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」

採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	自治医科大学	整理番号	1-2-162
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	自治医科大学におけるプライマリ・ケア教育		
申請単位	学部単位		
申請担当者	梶井 英治		
<p>(取組の概要)</p> <p>自治医科大学は、へき地（医師不足地域）の医療と福祉を確保するため、都道府県が共同して設立した医科大学である。従って、当大学は、進んでへき地医療に挺身する気概を持ち、人間性にあふれた医師を養成することを目的としてきた。</p> <p>当大学の卒業生は卒後間もなく山間や離島を含む第一線での医療に従事するので、当大学は開学以来、幅広い診療能力を有するプライマリ・ケア医の養成に努めてきた。その目的を達成するために、自治医科大学は我が国の医科大学で唯一の地域医療学講座を創設し、同講座を中心として、プライマリ・ケア医の養成を志向した、システム化された教育課程を構築してきた。</p> <p>今日、幅広い診療能力を有するプライマリ・ケア医が国民から強く求められている中、当大学の試みと実績は他の医科大学での教育カリキュラム作成に大いに参考になると考える。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>近年、医療者の育成に関し各方面から様々な指摘がなされ、各大学が反省の時期に入っています。その中であって、自治医科大学はプライマリ・ケアの重要性を取り上げ、その具現化のためのプログラムを提案しています。このことは、設立の目的とも一致し、またこれまでの取組に特長があるとともにその成果はわが国の医学教育界で評価を受けています。今後プライマリ・ケアおよび僻地医療の重要性を他大学にアピールするとともに、自らも進んで総合的な能力を持ち僻地医療の実践を担う医師の養成に一層努めることを期待します。</p>			